

## 相談・交流部門目次

- 1 相談・交流の基本的な考え方
- 2 相談業務
  - 1) 相談・交流部門の人員体制
  - 2) 相談の場所と時間帯
  - 3) 相談状況
    - ① 身分別相談状況
    - ② 内容別相談状況
      - i 研究・学習
      - ii 就職・アルバイト
      - iii 奨学金・授業料
      - iv 生活一般
      - v 入学・進学
      - vi 交流活動
      - vii ビザ・在留
      - viii 事件・事故
      - ix その他 留学生以外の相談
  - 4) 相談業務における課題
  - 5) 就職支援
    - ① 支援の考え方
    - ② 就職実績
    - ③ 留学生センターラウンジにおける留学生向け個別会社説明会
    - ④ 就職支援室との連携
    - ⑤ 就職支援における課題
  - 6) 留学生支援会
    - ① 支援会発足の経緯
    - ② 留学生支援会の課題
  - 7) 日本人学生の海外留学支援
    - ① 人員体制
    - ② 相談状況
    - ③ 情報提供
      - i 学外からの海外留学案内ポスターの掲示及び海外留学案内パンフレット等の配布
      - ii 電子メールによる海外留学情報の提供
      - iii 海外留学説明会の実施

- ④ 海外留学状況
    - i 交換留学による海外留学者数
    - ii 協定校が開催する短期研修プログラムへの派遣
  - ⑤ 工学部・工学研究科「留学準備コース」
  - ⑥ 日本人学生の海外留学支援における課題
- 3 学内交流活動
- 1) 定期交流活動
    - ① 国際交流ラウンジ
    - ② ビデオショウ
  - 2) その他学内活動
  - 3) 福井大学留学生会
    - ① 設立背景と事務局構成
    - ② 福井大学留学生会の活動
  - 4) 学内交流活動の課題
- 4 地域社会との相互支援交流活動
- 1) 小学校等への一日講師派遣
  - 2) 福井県等官界とのネットワークと交流活動
  - 3) 商工会議所等産業界とのネットワークと交流活動
  - 4) 地域国際交流ネットワーク構築及びネットワーク誌「こころねっと」
  - 5) 福井大学留学生同窓会活動
    - ① 福井大学留学生同窓会設立の背景
    - ② 福井大学留学生同窓会設立
    - ③ 支部設立の動き
    - ④ 同窓会の活動
    - ⑤ 福井大学留学生同窓会西安支部企画「母校訪問及び観光交流ミッション」来訪
    - ⑥ 「スプリングプログラム in 上海」の実施
  - 6) 第4回留学生国際シンポジウム「地震・津波等自然災害被災者支援のための国際ネットワーク構築に向けて」
  - 7) 第5回留学生国際シンポジウム「留学生の就職・採用促進のための産官学民ネットワーク構築に向けて」
  - 8) 福井県留学生交流推進協議会
  - 9) 課題
- 5 外部への情報発信活動
- 1) 主な発信媒体
  - 2) ネットワーク構築を支える情報登録・管理

## 相談・交流部門

### 1 相談・交流の基本的な考え方

留学生支援、特に相談業務の考え方についての基本的な視点は次の通りである。

- 1) 各種学内活動及び地域交流活動を通して、留学生と留学生、留学生と日本人学生、留学生と地域市民・産業界とのネットワークを構築し、そのネットワークを通して、留学生を支援する。
- 2) 問題が発生してから対応する問題解決型の相談から、問題発生を未然に予防する、更には、自己研鑽・社会活動展開のための相談へと、重点の移行を目指す。
- 3) 発生した問題の解決においては、学内外の諸機関・担当者と連携して解決する。
- 4) 可能な限り授業を多く担当し、留学生との接点を構築する。

(相談担当者が持つ授業に毎年約 100 名の受講生がいるので、在学留学生 247 名、ほぼ全員と顔が見える関係にあり、且つ、e-mail address 等を把握している)

### 2 相談業務

#### 1) 相談・交流部門の人員体制

福井大学留学生センターでは相談交流部門に教員 1 名が配置されている。他方、国際課には課長以下職員が 4 名、事務補佐員が 2 名いる。国際課には主に事務手続き関係の質問が行き、相談交流担当教員の方には、腰を据えてゆっくり相談したい場合にやってくる。

#### 2) 相談の場所と時間帯

いわゆる相談専用室はなく担当教員の研究室で相談を受ける。研究室には 5 人用のソファースーツがあり、寛いだ雰囲気を提供できる環境にある。相談時間帯は留学生センターホームページ (<http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/>) に掲載されている。また、研究室入口ドアには「いつでもどうぞお入りください。不在の場合のメモは上の籠（かご）に入れてください」との掲示があり、籠が用意されている。また、研究室のドアは常時開放されている。つまり、下記時間帯以外でも、授業中でない限り相談を受ける。

表 1 相談の時間帯

曜日	午前	午後
月		14:00 ~ 17:00
水	9:00 ~ 12:00	
木	9:00 ~ 12:00	
金	9:00 ~ 12:00	

### 3) 相談状況

相談担当教員の本学着任日（平成12年）以降の全相談データを記録し、身分別、内容別に分類してあるので、いつでも統計資料が作成できる状態になっている。

#### ① 身分別相談状況

平成20年度における身分別相談状況は表2の通りである。

以下相談件数はすべて、相談担当教員の研究室来訪による相談のみである。e-mailによる相談、国際課における相談等は入っていない。

表2 平成20年度身分別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
院生	0	0	2	6	65	15	67	21	88	44.7%
学部学生	0	0	5	0	28	22	33	22	55	27.9%
研究生	0	0	2	8	7	6	9	14	23	11.7%
特別聴講生	0	0	7	17	6	1	13	18	31	15.7%
小計	0	0	16	31	106	44	122	75	197	100.0%
合計	0		47		150		197			
割合	0.0%		23.9%		76.1%					

・研究生には、特別研究学生を含む。 ・特別聴講学生には、科目等履修生を含む。

一方、平成20年10月1日現在の身分別在学留学生数は表3の通りである。

表3 平成20年10月1日現在の身分別在学留学生数

(人数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
院生	5	3	4	9	65	17	74	29	103	42%
学部学生	0	0	3	2	55	23	58	25	83	34%
研究生	0	0	5	10	10	7	15	17	32	13%
特別聴講生	0	0	2	10	10	7	12	17	29	12%
小計	5	3	14	31	140	54	159	88	247	100%
合計	8		45		194		247			
割合	4%		18%		79%		100%			



さて、表2及び表3からわかるように、在学留学生の身分別の割合が、概ねそのまま、身分別相談件数の割合分布となっている。

ただ、日本語学校を経て日本語力を身につけ、日本社会での生活経験も豊富な学部学生は適応力と問題解決力があるので、その数に比べて相談件数は少なくなっている。

他方、日本語力があまりなくても研究室に研究生として入り、その後大学院へと進む研究生の場合は語学力が弱く、且つ、生活力も劣るので、様々な問題を抱えることになる。しかし、研究生や院生の場合は、研究室に所属しているので、指導教員や研究室仲間との緊密な人間関係が構築できるため、内部で解決できることも多い。他方、そのような環境にない特別聴講生は周りに相談する相手が少ないため、相談交流担当教員に頼ることが多い。

また、院生の相談件数が多いのは、日本国内就職を希望する学生が多いこともその一因である。

尚、平成15年10月に旧福井大学と福井医科大学が統合したが、医学部の留学生数自体が少ないこと、それに両キャンパスが地理的に離れていることから、医学部留学生の相談には対応できていない。

## ② 内容別相談状況

平成20年度における内容別相談状況は表4の通りである。

表4 平成20年度内容別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
研究・学習	0	0	4	5	19	8	23	13	36	18.3%
就職・アルバイト	0	0	5	5	33	7	38	12	50	25.4%
奨学金・授業料	0	0	0	0	3	1	3	1	4	2.0%
生活一般	0	0	0	0	13	10	13	10	23	11.7%
入学・進学	0	0	5	11	8	13	13	24	37	18.8%
交流活動	0	0	2	5	25	4	27	9	36	18.3%
ビザ・在留	0	0	0	5	2	1	2	6	8	4.1%
事件・事故	0	0	0	0	3	0	3	0	3	1.5%
小計	0	0	16	31	106	44	122	75	197	100.0%
合計	0		47		150		197			
割合	0.0%		23.9%		76.1%		100.0%			

平成15年度～平成20年度における内容別相談状況は下記表5の通りである。

表5 平成15-20年度の相談内容別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
研究・学習	1	0	24	38	127	75	152	113	265	19.8%
就職・アルバイト	0	0	31	66	144	71	175	137	312	23.3%
奨学金・授業料	0	0	0	12	29	17	29	29	58	4.3%
生活一般	0	0	9	13	59	35	68	48	116	8.7%
入学・進学	0	2	14	41	110	85	124	128	252	18.8%
交流活動	0	0	18	40	121	35	139	75	214	16.0%
ビザ・在留	0	0	1	7	22	8	23	15	38	2.8%
事件・事故	0	0	1	6	47	29	48	35	83	6.2%
小計	1	2	98	223	659	355	758	580	1,338	100.0%
合計	3		321		1,014		1,338			
割合	0.2%		24.0%		75.8%		100.0%			

表4及び表5から見ると、平成20年度の内容別相談件数は従来の内容別相談件数の割合とほぼ重なっている。

i 研究・学習

研究学習に関する相談は例年多いが、院生からの相談がほとんどである。研究室内の人間関係、研究テーマそのもの、学位論文執筆の壁、などがある。修士論文で悩んで相談に来る学生は皆無に近いが、博士論文の場合にはかなりの学生がノイローゼ気味になる。査読の結果が届かない、規定の論文数になっているのに指導教員が予備審査に入ってくれない、今のテーマでは論文が書けない、などである。黙って悩みを聞いてあげると同時に、必要に応じて指導教員と協議している。特に、研究テーマを変更したいということで、関係者と協議の上、結局研究室を変更したケースも数件ある。他方、学部学生で単位が取れず、進級できないと、駆け込んでくる学生もいる。

近年増えているのが、研究の一環として、地域の学校などでアンケートやインタビューをしたいので、協力してほしいという相談である。構築しているネットワークを通して対応している。

## ii 就職・アルバイト

就職したい、企業を紹介してほしい、履歴書の書き方がわからない、自己PR文をチェックしてほしい、就業ビザが取れない、給与について会社に問い合わせてもいいか、将来日本から中国に転勤転籍したら給料はどうなるのか、内定通知を複数もらったがどこがいいか等、就職に関する相談が例年相談件数のトップである。就職相談体制については後述するが、福井商工会議所、福井労働局、入管との連携、特に産業界とのネットワークを通して支援している。

今年度は就職環境が厳しかったこともあり、相談件数が増えた。

## iii 奨学金・授業料

奨学金・授業料の相談件数が少ないのは、まず奨学金案件そのものが少ないこと、また、授業料免除は学生課が窓口であるためこちらでは学生課への問い合わせに終わることによると思われる。具体的な相談案件は、民間奨学金申請書作成、特に課題作文に関することや、推薦状作成依頼などである。

## iv 生活一般

生活一般に関する相談は少ないが、入院に伴う高額医療払い戻しや、警察による職務質問、健康問題などがある。従来多かった住宅賃貸契約保証人問題は外国人留学生支援会発足に伴いなくなったが、アパート探しなどの相談はある。

## v 入学・進学

入学進学に関する相談は学内進学、学外進学、更には第三国への進学相談がある。学内進学の場合、交換留学生等短期留学生の大学院進学への相談が多いのも特徴である。本国の教育制度との違いから入学資格要件を満たさないのではないか、適当な指導教員を探してほしい、などの相談もある。学外進学、及び第三国への進学の場合は、進学先情報提供、研究計画作成の指導、推薦状作成依頼がほとんどである。

## vi 交流活動

学生の地域理解や親日感は、パーティ等に招待されることからではなく、地域の国際化への積極的貢献から生まれるという認識から、小中学校や県内機関に留学生を講師として積極的に派遣している。相談内容としては、小学校等での発表方法や、準備内容等に関するものが相変わらず多いが、その他に、交流活動に参加したいが、指導教員が厳しくて許可がもらえそうにないなど、研究室／指導教員が交流活動と研究活動のバランスに苦慮している面が見られる。

更には、交流活動に参加したいが、アルバイトで忙しくて参加できない、それを理解してほしいという、疎外感の告白もある。

#### vii ビザ・在留

相談件数が少ないのは、各種ビザの取得・更新手続き等に関しては国際課留学生係が中心に処理して、国際課段階で解決されているからだと思われる。相談担当教員への相談案件は、家族や友人のビザ取得に関して、身元保証人になってほしいという相談が中心である。家族の来日時には、研究室を訪問してくれるので、母国の家族との交流の貴重な機会でもある。

#### viii 事件・事故

事件事故に関する相談は全般に少ないが、従来よりその大半は交通事故案件である。被害者としてだけでなく、加害者の場合もあり、対応が難しい。恐怖のあまり、現場から逃走してしまったり、相手の心情を逆なでする言動があったりすると、問題がこじれる。本学の交流活動等で懇意にしている保険屋さんから適切なアドバイスを受けながら、誠意をもって対応している。問題解決過程での経験は、留学生にとっても社会勉強になっているようだ。

#### ix その他 留学生以外の相談

海外から直接メールが入ったり、福井在住の外国人から、修士課程、博士課程への入学等に関する問い合わせや相談を受けることが多い。主に工学部・工学研究科に関するもので、指導教員を紹介してほしいというものである。その場合には、研究計画、履歴書、成績証明書等必要書類を取り寄せ、当該学科の留学生委員会委員に情報を転送し、学科内全教員に受入意思の有無を確認するように依頼している。毎年数名がこのような形で入学している。

また、県内関係機関から毎年50件ほど、国際交流活動の企画、求人活動計画等についての来訪相談を受ける。平成20年度にも58件の来訪相談があった。内34件(58%)は就職関係、19件(33%)は交流関係の相談であった。

日本人学生からの相談で、近年増えているのが、講座での課題や卒業研究のために、留学生を対象としたアンケートやインタビューへの協力依頼である。3学部すべてから依頼が来ている。

その場合は、地域交流活動と同じように、一斉メールで留学生に依頼内容を配信したり、調査対象に該当する学生に直接話をしてほしいしたりしている。

### 4) 相談業務における課題

- ① 学生を支援するための、ネットワーク作りを更に推進することが肝要である。
- ② 留学生センターの施設が分散し、且つ、日本語教育の教室から離れた場所に、相談担当教員の研究室があるため、留学生が相談に来ても不在なことがある。相談業務を含め、センター業務全体が有機的な機能を果たすためには、センター施設の集中化が望まれる。

- ③ 相談担当教員が授業を多く持つことは、留学生と接点を持つために肝要であるが、他方、交流活動、シンポジウム等業務が重なり、時間的・精神的な余裕がなくなり、留学生が相談に來にくい状況を作っているかと懸念される。

## 5) 就職支援

### ① 支援の考え方

社会・経済のグローバル化が進む中で、地域経済界が生き延びる、更に発展するためには、各企業の国際化は喫緊の課題である。そして、その柱となるのが、国際戦略を担う人材確保である。他方、留学生も卒業後、実務経験を身につけたい、更には、人生設計を日本の産業界に求めたいという学生が増えている。留学生センターは双方のニーズを調整しながら、留学生の国内就職支援および経済界特に県内企業の国際化支援を行っている。具体的な支援の流れは表6の通りである。

表6 就職支援の流れ

2月中旬	<p>留学生向け就職説明会実施</p> <p>内容 : 過去の就職実績・平成19年度の内定状況について          : これからの就職活動と相談について（就職の心構え、就職ナビ登録、履歴書作成法、自己PR文の書き方、内定後の注意事項等）          : 各種資料配布          「就職活動の手引き 2008年」福井大学作成          「日本で働こうとする外国人のみなさんへ」          （英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語版）厚生労働省作成          「ふくい企業ガイドブック 2008年」福井労働局作成          : 就職が内定している先輩の就職活動体験談          : 就職希望者リスト登録</p>
5月	<p>福井大学就職希望留学生一覧を県内企業120余社に送付</p>
以降随時	<p>個別企業による会社説明会を留学生センターラウンジで開催</p> <p>求人票、会社説明会等をe-mailで配信。及び個別に就職相談を受ける。</p>
内定決定	<p>相談交流担当教員に内定決定を連絡後、在留資格変更手続き等の相談を受ける。</p>

② 就職実績

平成20年度の留学生の国内就職実績は下記表7の通り19名（県内8名）であった。

表7 平成20年度留学生国内就職実績（就職先内定情報入手順）

	企業名	学生所属	国籍	企業所在地
1	日産自動車(株)	工学研究科機械工学専攻	中国	東京都
2	日産自動車(株)	工学研究科ファイバーアモニティ工学専攻	中国	東京都
3	マツダ(株)	工学研究科ファイバーアモニティ工学専攻	中国	広島県
4	日華化学(株)	教育学研究科教科教育技術専修	中国	福井市
5	松下モータエキスパート(株)	工学部機械工学科	マレーシア	越前市
6	富士通(株)	工学研究科情報・メディア専攻	ベトナム	神奈川県
7	ダイハツ工業(株)	工学部機械工学科	マレーシア	大阪府
8	(株)IHI	工学研究科ファイバーアモニティ工学専攻	中国	東京都
9	北陸繊維工業(株)	工学研究科ファイバーアモニティ工学専攻	中国	鯖江市
10	松下モータエキスパート(株)	工学部機械工学科	マレーシア	越前市
11	富士ソフト(株)	工学研究科原子力・エネルギー安全工学	中国	神奈川県
12	スズキ(株)	工学研究科システム設計工学	中国	静岡県
13	アイテック(株)	工学研究科材料開発工学専攻	中国	鯖江市
14	サイボウズ(株)	工学研究科システム設計工学	中国	東京都
15	青山眼鏡(株)	教育地域科学部地域文化課程	中国	鯖江市
16	(株)ウェスト	工学部建築建設工学科	中国	大阪府
17	ユティック(株)	工学研究科ファイバーアモニティ工学専攻	中国	坂井市
18	住友電装(株)	工学部知能システム工学科	マレーシア	三重県
19	藤田光学(株)	教育学研究科教科教育技術専修	中国	鯖江市

③ 留学生センターラウンジにおける留学生向け個別会社説明会

毎年就職希望者リストを県内120余社に送付して就職先開拓をしているが、県内外の企業から求人関係の問い合わせがあれば、可能な限り来訪いただき、本学留学生センターラウンジに留学生を集め、個別会社説明会をお願いしている。平成20年度は4社の説明会を実施した。

④ 就職支援室との連携

本学では就職支援室が全学の就職支援活動を展開しているが、留学生関係の求人情報、就職フェア情報などは随時就職支援室から情報提供を受けている。また、就職支援室からの要請で、日本国内外を問わず、全留学生の就職先の確認作業を毎年実施している。

⑤ 就職支援における課題

- i 就職支援の最大のポイントは求人会社の確保である。平成13年度、14年度及び18年度に福井商工会議所、ジェトロ福井、福井県等と協力して実施した「留学生と県内企業との交流会」を手掛かりに、留学生の国内就職も順調に推移しているが、更なる展開のためには、求人会社の開拓が必要である。
- ii 就職後熱意をもって仕事を継続できるように、働くことの意義、動機付け教育を推進することも課題である。事務的手続きの指導だけでなく、動機付けに関する講義が後日感謝されることが多い。
- iii 留学生の就職先には給与・手当等人事福利厚生体制が確立・明文化されていない中小企業も多い。更には職場でのコミュニケーション不足も加わって、人事労務関係の摩擦が起きることもある。今後は、そのような方面の情報提供も必要である。
- iv 現在構築しつつある同窓会支部網を通して、今後は母国企業への就職支援へと活動を広めていきたい。

6) 留学生支援会

① 支援会発足の経緯

平成18年9月の教育研究評議会決議を経て福井大学外国人留学生支援会が正式に発足した。そして、平成19年1月に「支援会設立のお知らせと会員加入のお願い」という文書を全教職員に発信し、会員加入手続きが始まった。会費は一口1,000円（但し、留学生会員は一口500円）。特に従来、留学生が賃貸住宅に入居する際には、主に指導教員が賃貸契約の保証人になっていたが、連帯債務の可能性等があり、その精神的な負担は大きかった。支援会発足に伴い機関保証制度が確立し、その重圧から開放されることになった。

表8 福井大学外国人留学生支援会会則

<p><b>福井大学外国人留学生支援会会則</b></p> <p>(名称)</p> <p>第1条 本会は、福井大学外国人留学生支援会（以下「支援会」という。）と称する。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 支援会は、福井大学の外国人留学生（以下「留学生」という。）に対し、修学上及び生活上の支援を図り、福井大学の留学生交流の一層の促進を図ることを目的とする。</p> <p>(事業)</p> <p>第3条 支援会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 留学生の賃貸住宅入居に伴う連帯保証に係る支援</li> <li>(2) 留学生の不測の事故・疾病に対する支援</li> <li>(3) その他、前条の目的を達成するために必要な事業</li> </ul>	<p>平成18年9月6日 教育研究評議会</p>
---	------------------------------

(組織)

第4条 支援会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 第5条第1項に規定する役員
- (2) 福井大学の職員で、支援会の目的に賛同し、所要の会費を納入し、入会の手続きを行った者（以下「職員会員」という。）
- (3) 福井大学の留学生で、支援会の目的に賛同し、所要の会費を納入し、入会の手続きを行った者（以下「留学生会員」という。）
- (4) 前2号以外の者で、支援会の目的に賛同し、第7条に定める寄附金を納入し、入会の手続きを行った個人又は法人等（以下「賛助会員」という。）

(役員)

第5条 支援会に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 1名
  - (3) 理事 4名
- 2 会長は、福井大学の学長をもって充て、支援会を代表し、その業務を統括する。
- 3 副会長は、福井大学の理事（教育・学生担当）をもって充て、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 4 理事は、福井大学の各学部長及び留学生センター長をもって充て、会員の総意を表し、支援会の運営に携わる。

(役員会)

第6条 支援会に、支援会の運営に関する重要事項を審議するため、役員会を置く。

- 2 役員会は、前条第1項に掲げる役員をもって組織する。
- 3 役員会は、会長が招集し、その議長となる。
- 4 役員会は、その過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 5 役員会の議事は、出席した役員の過半数をもって決する。
- 6 役員会は、第3条に定める事業の実施細目に関わる審議を、福井大学留学生委員会に委ねることができる。

(会計等)

第7条 支援会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 支援会が行う事業に係る経費は、会員からの会費、寄附金その他の収入をもって充てる。ただし、当該年度の収入が目標額を超えた時点で、会費の受け入れを一時停止することがある。
- 3 会費は、年会費制として、役員及び職員会員は1口1,000円、留学生会員は1口500円とし、1口以上を毎年度ごとに納入するものとする。
- 4 賛助会員からの寄附金については、任意の額とし、毎年度ごとに納入するものとする。
- 5 支援会の事業計画及び予算は、役員会の議を経て、会長が決定する。
- 6 支援会の決算は、毎会計年度終了後、役員会の議を経て、会員に報告するものとする。

(入会及び退会)

第8条 職員会員、留学生会員又は賛助会員になろうとする者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

- 2 会員は、会長に退会届を提出して、退会することができる。また、職員会員が福井大学の



職員でなくなったとき、留学生会員が福井大学の留学生でなくなったときには、自動的に退会したものとする。ただし、既納の会費及び寄附金については返還しないものとする。

(事務局)

第9条 支援会の事務局を福井大学内に置き、支援会に関する事務は福井大学学務部国際課が行う。

(補則)

第10条 この会則の改廃及び支援会の運営に関し必要な事項は、役員会の議を経て、会長が定める。

附 則

この会則は、平成18年9月6日から施行する。

## ② 留学生支援会の課題

- i 留学生30万人計画を踏まえ留学生数の増加が見込まれる中、事故・事件被害者への対応、重篤病気罹患者の支援等を賄えるだけの資金確保のために、教職員の理解と会員加入を如何に進められるかが課題である。
- ii 本会の支援対象者である留学生にも、自助意識をもってもらい、一口500円の会員として募集することになっているが、それを如何に進めるかも課題である。
- iii 更に、このような支援の必要性が発生しないような、予防活動を如何に展開できるかも更に大きな課題である。

## 7) 日本人学生の海外留学支援

### ① 人員体制

日本人学生の海外留学を支援する専任教職員は現在配置されていないが、日本語・日本事情教育部門の教員1名が担当し、平成15年10月以降その業務を行っている。

### ② 相談状況

平成20年度の相談件数は工学部の学生1名から相談があった。ドイツ留学を希望していたので、教育地域科学部のドイツ留学の窓口となる教員の方へも相談に行くように指導した。また、本学の留学説明会やJASSO等の期間も紹介した。

### ③ 情報提供

#### i 学外からの海外留学案内ポスターの掲示及び海外留学案内パンフレット等の配布

国内外の各種団体から海外留学案内ポスターやパンフレット等が送付されてくるので、随時、留学生センターロビーの掲示板に貼ったり、書架に展示したりしている。また、部数に余裕があるときは、学生が自由に持ち帰れるようにしている。

## ii 電子メールによる海外留学情報の提供

海外留学に興味を持つ学生に、随時メールで海外留学情報を発信している。国際交流ラウンジの参加者や、海外留学相談に訪れる学生に宣伝するなどして、利用者の拡大を図っている。

また、国際課では平成19年に海外留学情報メーリングリストを作成し、プログラム参加者募集、説明会開催、奨学金応募者募集等の情報を月1～2回のペースで配信している。

## iii 海外留学説明会等の実施

海外留学を希望する学生への説明会を毎年実施しているが、参加者は増え続け、平成20年度は延べ55名に達した。平成20年度の海外留学説明会実施回数は4回にのぼった。この他に International Education Fair を実施した。こちらの参加者は約100名であった。

### 第1回

説明会名	平成20年度新入生オリエンテーション海外留学説明会
日時	平成20年4月9日(水) 12:20～12:50
場所	総合研究棟1階 総合小1講義室
担当	海外留学支援担当教員、国際課職員、福井大学生生活協同組合
対象	本学学生で海外留学又は海外経験に興味を持つ学生
参加学生数	30名
説明項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人学生の海外留学状況について</li> <li>・海外留学の計画に当たって</li> <li>・日本人学生の海外留学のための奨学金制度について</li> <li>・短期留学推進制度について</li> <li>・長期海外留学支援制度について</li> <li>・福井大学の学術交流協定締結状況</li> <li>・公的な海外留学情報機関及び海外における安全問題に関する情報提供機関について</li> <li>・海外留学メーリングリストについて</li> </ul>

### 第2回

日時	平成20年5月9日(金) 13:00～14:00
場所	総合研究棟2階小2講義室
担当	海外留学支援担当教員、国際課職員
対象	本学学生で韓国短期留学に興味を持つ学生
参加学生数	14名
説明項目	コース内容：韓国語、韓国の政治・文化・歴史に関する講

義やテコンドー等の文化体験、釜山市内・慶州でのフィールドトリップ等

費用

宿泊施設

前年度に派遣された学生による体験談

東亜大学校の交換留学生による東亜大学校や釜山市の紹介

### 第3回

説明会名	平成20年度アメリカ交換留学・大学院留学説明会
日時	平成20年6月6日(金) 13:00~14:30
場所	総合研究棟 2階 総合小2講義室
担当	海外留学支援担当教員、国際課職員、福井大学生生活協同組合
対象	本学学生でアメリカ留学に興味を持つ学生
参加学生数	8名
説明項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本人学生のアメリカ留学状況について</li><li>・海外留学の計画に当たって</li><li>・日本人学生の海外留学のための奨学金制度について</li><li>・短期留学推進制度について</li><li>・長期海外留学支援制度について</li><li>・クレムソン大学、フィンドレー大学の学生による大学紹介</li><li>・大学院留学、交換留学体験説明</li></ul>

### 第4回

説明会名	平成20年度 International Education Fair
日時	平成20年7月11日(金) 11:30~14:00
場所	大学会館1階談話室
担当	海外留学支援担当教員、国際課職員、福井大学生生活協同組合
対象	本学学生及び教職員で海外や国際交流に興味を持っている人
参加学生数	約100名
説明項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・福井大学で学ぶ交換留学生などによる出身大学の紹介</li><li>・留学準備コースの学生による学習成果発表</li><li>・大学生協による夏休みの海外語学研修プログラムの説明</li><li>・JICA 北陸支部による海外協力ボランティアプログラムの紹介</li><li>・福井県国際交流協会による国際交流活動紹介</li></ul>

第5回

説明会名	平成20年度海外留学説明会・ワーキングホリデー体験紹介
日時	平成20年12月19日（金）13：00～14：00
場所	総合研究棟 2階 総合小2講義室
担当	海外留学支援担当教員、国際課職員、福井大学生生活協同組合
対象	本学学生で海外留学又は海外経験に興味を持つ学生
参加学生数	3名
説明項目	・本学学生によるオーストラリア・ワーキングホリデー体験紹介（英語によるプレゼンテーション）

④ 海外留学状況

i 交換留学による海外留学者数

平成20年10月現在、本学には留学生が247名在籍しているが、その在籍者数はここ数年着実に増加してきたが、今年度は前年度比6名の減となった。他方、日本人学生の交換留学による海外留学は毎年数名に過ぎない。本学の理念である、「地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成」、特に国際社会に貢献し得る人材の育成のためには、日本人学生の海外留学の推進が急務である。海外留学説明会の開催数は昨年同様4回であり、参加者数も、昨年度が58名であったのに対して、平成20年度は55名と微減であったが、新たに発足したInternational Education Fairは参加者が約100名あった。

ii 協定校が開催する短期研修プログラムへの派遣

短期語学研修は、本学各学部が主導するプロジェクトとして毎年実施されているが、センターにおいても、平成18年度より、本学が学術交流協定を締結している韓国の東亜大学の夏季短期研修プログラム「KOREAN SUMMER SESSION」に毎年学生を派遣することになっている。20年度は下記のとおり実施した。

研修先機関名：	東亜大学校（韓国）
派遣学生：	5名（教育地域科学部1名 教育学研究科1名、工学部3名）
期間：	平成20年8月11日～8月22日（約2週間）
目的：	韓国語初級コースと韓国の政治・経済、社会、文化などに関する特別講義等により構成された、日本人学生向けのプログラムで、韓国社会についての全般的な理解を深める機会を提供することを目的とする。
備考：	プログラム参加費、宿泊費等は無料。

⑤ 工学部・工学研究科「留学準備コース」

工学部では工学部及び留学生センターでは、増加する留学希望者のニーズにこたえるた

めに、「留学準備コース」を以下の要領で開催した。

目的：留学を希望する学生の語学学習を支援するとともに、留学中の生活情報等の提供や、留学準備に関する指導を行い、海外留学の実現を多面的に支援し、より多くの学生を海外に派遣する

開講コース：

1. 留学英語初級コース（週2コマ）
  - ・ TOEFL 400点以下の学生が対象
  - ・ TOEFL 450点の獲得を目指す
2. 留学英語中級コース（週2コマ）
  - ・ TOEFL 400点～500点以下の学生が対象
  - ・ TOEFL 500点の獲得を目指す
3. My Preferred Destination Abroad
  - ・ 自分にあった留学先や留学方法及び留学する意味を考える。留学に関するさまざまなトピックを話し合い、自分にあった留学スタイルを見つける。
4. TOEFL Class
  - ・ 英語圏の大学におけるプレゼンテーションの方法、エッセイの書き方、効率的なリーディング等、大学生活に必要なアカデミックイングリッシュのスキルを身につける。

業務所掌：留学英語コースの講師は工学研究科非常勤講師(英語担当)とする。留学英語コースの事務は留学生センターにて担当する。

実施期間：平成20年4月より半年間及び平成20年10月より半年間

対象学生：工学部及び工学研究科に在籍し、海外留学を希望する意欲ある学生

開講授業数：初級コース	週2コマ×15週＝全30コマ
中級コース	週2コマ×15週＝全30コマ
My Preferred Destination Abroad	週2コマ×15週＝全30コマ
TOEFL Class	週2コマ×15週＝全30コマ

参加者の負担：語学力テスト受験料2,820円×2回＝5,640円

テキスト代

実施状況：

【前期登録者数：単位（人）】

学部・研究科	初級	中級	My Preferred Destination Abroad	計
工学部 2年	4		1	5
工学部 3年	1	1		2
工学部 4年		3	1	4
工学研究科博士前期 1年	5	1		6
工学研究科博士前期 2年	3	1	2	6
工学研究科博士後期 1年		2		2
工学研究科博士後期 2年		2		2
合計	13	10	4	27

【後期登録者数：単位（人）】

学部・研究科	初級	初級	TOEFL	My Preferred Destination Abroad	計
工学部 1年	7	1	1	5	14
工学部 2年	1		1		2
工学部 3年	2	3		1	6
工学部 4年	5	1	1		7
工学研究科博士前期 1年			2	1	3
工学研究科博士前期 2年		1	2		3
工学研究科博士後期 1年					
工学研究科博士後期 2年					
合計	15	6	7	7	35

学生の声：

- ・（前期留学準備コースを受講したことがきっかけで）後期はオープンクラスを利用し、勉強を続けている。
- ・（前期中級クラスを受講していた学生）週2回の頻度で行ってほしい。
- ・授業ではすべて英語ですので、ヒアリングをはじめ、英語でコミュニケーションをとる訓練になり、期待通りの素晴らしい内容だと感じました。
- ・授業のメインテーマの一つであるディスカッションでは、自分の言いたいことを英語で伝える訓練になり、また、先生の意見を聞くことにより、ディスカッションで自分の言いたいことをうまく表現して伝える方法を学ぶことができたのが一番素晴らしいと感じました。

じたところです。

- ・ いままでの英語の勉強で一番伸びている気がします。それに、人間的にも成長しました。発言力や知識、考える力、考えることなども学びました。  
あと、週に一回定期的にあるので自分の英語の勉強も続けられます。
- ・ 個人的に受けた TOEIC の点が上がりました！
- ・ 極端にレベルの高い学生がいるので、他の受講生と話が通じないことが多々あります。難しいとは思いますが、もっと細かくレベルが分かれているといいな、と思います。
- ・ 生の英語が聞けるし、どちらの授業も少人数で楽しく英語が学べて良いと思います。
- ・ エッセイの添削では、語句や文法とともに、構成についてチェックしていただけるので、『どのようなものが良いエッセイなのか』がなんとなく理解でき、大変有意義だと考えております。

#### ⑥ 日本人学生の海外留学支援における課題

日本人学生の海外留学支援を担当する教員の今後の支援方向としては、昨年に引き続き、以下のことが考えられる。

- i 留学、短期語学研修、その他の海外諸活動など、日本人学生の海外留学等に関する情報を一元管理し、活動推進策を企画・実施していくこと。
- ii 留学情報を随時周知・配信できる体制を拡充すること。
- iii 日本人学生だけでなく、教職員を含む本学全体の海外留学に対する意識改革を図ること。
- iv 工学部学生を対象にして実施している「留学準備コース」を他学部の学生も受講できるような体制に移行すること。

### 3 学内交流活動

留学生相互の交流、日本人学生との交流のために、学内交流活動を推進している。その目的は人間関係のネットワークを通して、①留学生の精神的な安定を図ること②相互扶助の関係を構築すること③留学生および日本人学生の国際性の涵養を図ることなどである。

尚、学内交流活動は福井大学留学生会が中心となり、大学生協学生組織 SOSEN 部などと協力しながら実施している。

表9 平成20年度学内交流活動実績

	月 日	活 動 報 告	人数
1	4月6日	第5回バレーボール大会	20
2	4月2日	第3回就職説明会	5
3	4月9日	こころねっと発送作業	7
4	4月13日	第5回バスケットボール大会	26
5	4月17日	日本人学生との交流会	36
6	4月20日	第13回サッカー大会	14
7	4月23日	福井大学留学生会事務局会議	7
8	4月24日	第75回ビデオショー「七人の侍」	26
9	4月26日	ライオンズクラブバス旅行	29
10	4月27日	第6回バレーボール大会	18
11	5月1日	第72回国際交流ラウンジ	10
12	5月3日	第14回サッカー大会	40
13	5月5日	第7回バレーボール大会	13
14	5月8日	第76回ビデオショー「Oceans Thirteen」	15
15	5月10日	第15回サッカー大会	20
16	5月11日	第8回バレーボール大会	14
17	5月15日	中国人学友会主催四川省地震被災者募金学内	15
18	5月15日	第73回国際交流ラウンジ	11
19	5月16日	中国人学友会主催四川省地震被災者募金学内	12
20	5月16日	第4回就職説明会	7
21	5月17日	第16回サッカー大会	15
22	5月17日	中国人学友会主催四川省地震被災者募金駅前	42
23	5月18日	中国人学友会主催四川省地震被災者募金駅前	47
24	5月18日	第9回バレーボール大会	15
25	5月22日	第1回就職支援システム説明会（国際課、I B A C）	7
26	5月22日	第77回ビデオショー「四股ふんじゃった」	8



相談・交流部門

	月 日	活 動 報 告	人数
27	5月24日	第17回サッカー大会	18
28	5月25日	第10回バレーボール大会	13
29	6月5日	第74回国際交流ラウンジ	9
30	6月7日	第18回サッカー大会	35
31	6月8日	第11回バレーボール大会	13
32	6月12日	第2回就職支援システム説明会	4
33	6月12日	第78回ビデオショー「墨攻」（中国映画）	13
34	6月14日	第19回サッカー大会	20
35	6月15日	第12回バレーボール大会兼卓球大会	11
36	6月19日	第75回国際交流ラウンジ	9
37	6月21日	第20回サッカー大会	25
38	6月22日	第13回バレーボール大会、バトミントン大会	7
39	6月26日	第79回ビデオショー「ショウシャンクの空に」	10
40	6月27日	フォーラムエンジニアリング社会社説明会	6
41	6月29日	第14回バレーボール大会、バトミントン大会	12
42	7月3日	第76回国際交流ラウンジ	8
43	7月5日	第21回サッカー大会	17
44	7月6日	第15回バレーボール大会	11
45	7月7日	就職シンポジウム打ち合わせ会	10
46	7月12日	第22回サッカー大会	20
47	7月13日	第16回バレーボール大会	13
48	7月15日	福井大学留学生会事務局会議（スポーツ大会日程調整）	6
49	7月16日	サマーキャンプ説明会	15
50	7月17日	第77回国際交流ラウンジ	10
51	7月18日	日華化学会社説明会	20
52	7月19日	第23回サッカー大会	25
53	7月20日	第17回バレーボール大会	18

福井大学留学生センター紀要第5号

	月 日	活 動 報 告	人数
54	7月27日	第18回バレーボール大会	24
55	8月3、4日	第7回国際交流キャンプ	38
56	8月9日	第24回サッカー大会	18
57	9月27日	第4回留学生国際シンポジウム	76
58	10月8日	新入生歓迎会準備委員会	7
59	10月15日	新入生歓迎パーティ	45
60	10月16日	第78回国際交流ラウンジ	18
61	10月22日	事務局会議	11
62	10月23日	第80回ビデオショー「千と千尋の神隠し」	6
63	10月30日	第79回国際交流ラウンジ	16
64	11月1日	第25回サッカー大会	14
65	11月6日	第80回国際交流ラウンジ	23
66	11月14日	第81回ビデオショー「レオン」	9
67	11月19日	第3回ビリヤード大会	12
68	11月20日	第81回国際交流ラウンジ	30
69	11月23日	第19回バレーボール大会	15
70	11月28日	第82回ビデオショー「ハウルの動く城」	7
71	11月30日	第26回サッカー大会	21
72	12月4日	第82回国際交流ラウンジ	25
73	12月12日	第83回ビデオショー「アメリカ」	10
74	12月17日	留学生会忘年会	36
75	12月18日	第83回国際交流ラウンジ	25
76	12月21日	第20回バレーボール大会	23
77	1月15日	第84回国際交流ラウンジ	21
78	1月22日	第84回ビデオショー「カンフー パンダ」	10
79	1月25日	福井大学留学生同窓会日本支部関東地区会合	12
80	1月25日	第21回バレーボール大会	18

相談・交流部門

	月 日	活 動 報 告	人数
81	2月8日	第22回バレーボール大会	22
82	2月17日	第8回国際交流スキー旅行	39
83	2月20日	後期さよならパーティ	25
84	2月22日	第23回バレーボール大会	25
85	2月26日	第1回留学生就職説明会	8
86	2月27日	第2回留学生就職説明会	5
87	3月1日	福井大学留学生同窓会日本支部中部地区会合	7
88	3月1日	第24回バレーボール大会	16
89	3月4日	留学生と教職員の交換会	132
90	3月8日	第27回サッカー大会	21
91	3月8日	第25回バレーボール大会	19
92	3月8日	福井大学留学生同窓会日本支部関西地区会合	5
93	3月15日	第26回バレーボール大会	17
94	3月27日	ブラザー工業会社説明会	12
95	3月29日	第27回バレーボール大会	22

## 1) 定期交流活動

毎週第一、第三、及び第五木曜日には国際交流ラウンジを、また、第二、第四木曜日にはビデオショウを実施している。

### ① 国際交流ラウンジ

案内文（和文例： 実際には和英併記でメール配信する）

留学生及び日本人学生の皆さん

下記の通りお話し会「第84回国際交流ラウンジ (International Friendship Lounge)」を行います。  
お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時	1月15日（木曜日）18：15-19：15 （毎月第一、第三及び第五木曜日18：15-19：15開催）
場所	留学生センター ラウンジ
参加者	留学生及び日本人学生
内容	前半30分英語、後半30分は日本語によるグループ自由会話 （飲み物、お菓子付）
話題	「冬休み」
参加費	無料
主催	福井大学生協 S O S E N 部 福井大学留学生会

### ② ビデオショウ

案内文（和文例： 実際には和英併記でメール配信する）

留学生及び日本人学生の皆さん、

下記のとおり、第84回ビデオショウを予定しています。  
皆様のご参加をお待ちしております。

日時	2009年1月22日（木曜日）	18：15-20：30
題名	「カンフーパーンダ」	
場所	留学生センターラウンジ	
料金	無料（コーヒー、お菓子付き）	

Fady Alnajjar,  
Secreratry,  
University of Fukui International Student Association (UFISA)

## 2) その他学内活動

その他の主な活動としては、福井大学留学生会主催による、国際交流サマーキャンプ（1泊2日、越前海岸での水泳、国見岳でのキャンプ。38名参加）、及び国際交流スキー旅行（例年1泊2日であるが、今年度は雪が少なく日帰り旅行に変更。39名参加）がある。両行事とも参加費3,000円であるが、申込み初日で定員オーバーとなる人気行事である。その他に、サッカー、バレーボール、ビリヤードなどのスポーツ大会、歓送迎会、忘年会などを実施している。

## 3) 福井大学留学生会

### ① 設立背景と事務局構成

平成15年11月に福井大学留学生同窓会が発足したが、それを機に、その同窓会事務局の提案により、福井大学留学生会が平成16年4月に発足した。その目的は、留学生相互の交流と相互扶助、日本人学生および地域社会との交流である。福井大学留学生会の会長は福井大学中国人留学生学友会長が務めることになっているが、毎学期開始時に、各種行事毎の実行委員会が編成され、実行委員会を中心に行事を企画運営している。

### ② 福井大学留学生会の活動

福井大学生協学生組織 SOSEN 部などと協力しながら、国際交流ラウンジ、ビデオショー、歓送迎会、国際交流キャンプ、国際交流スキー旅行、各種スポーツ大会などを実施している。また、地域社会との交流活動としては、県内国際交流団体が主催する行事に積極的に参加している。また、地震・津波など災害救援のための募金活動なども行っている。

## 4) 学内交流活動の課題

- ① 相談交流担当教員は日本人学生との接点がないので、e-mail 網等の構築が難しい。  
現在は、各種活動に参加する学生から個別に情報を収集しネットワークを構築している。
- ② 留学生の大半は私費留学生であり、生計維持のためにアルバイトをしなければならず、実験やレポートなど課題が多く、時間が取れないため、参加したくても参加できない学生が多い。
- ③ 他方、留学生個々人が様々な活動に参加できないと、相談交流担当者との接触が薄くなり、徐々に顔が見えなくなる。そして、ある日突然大きな問題を抱えて相談に来ることになる。
- ④ 従って、各種交流活動に参加しなくても、常に、目の届くような体制構築が課題である。

## 4 地域社会との相互支援交流活動

### 1) 小学校等への一日講師派遣

地域社会は温かく留学生を迎え、受入れ、支援してくれている。留学生も地域の国際化のために、何かをし、喜んでもらう。その満足感、達成感、充実感こそが自己の存在意義、社

会貢献の証しとして懐かしい思い出となる。ギブ&テイクのベクトルは常に双方向の満足感を伴うが、ギブによる思い出こそが知日派、親日派を育てると確信している。その確信から、小中学校の総合学習、企業への通訳・語学講師派遣など、支援活動を展開している。

留学生センターとしての留学生派遣状況は平成14年度(25件)から全て記録してあるが、派遣実績は平成15年度46件、16年度66件、17年度45件、18年度47件、19年度69件、20年度61件となっている。尚、これらの件数はあくまでも、相談交流担当教員が直接介在して派遣したもので、地域社会と関係が重層に構築される中で、大学を通さず、留学生が直接、地域各交流協会の語学講座講師や文化教室講師、また公民館や幼稚園の活動等に参加している例も多い。

派遣の流れと、平成20年度派遣実績は下記表10及び表11の通りである。

表10 留学生派遣の流れ

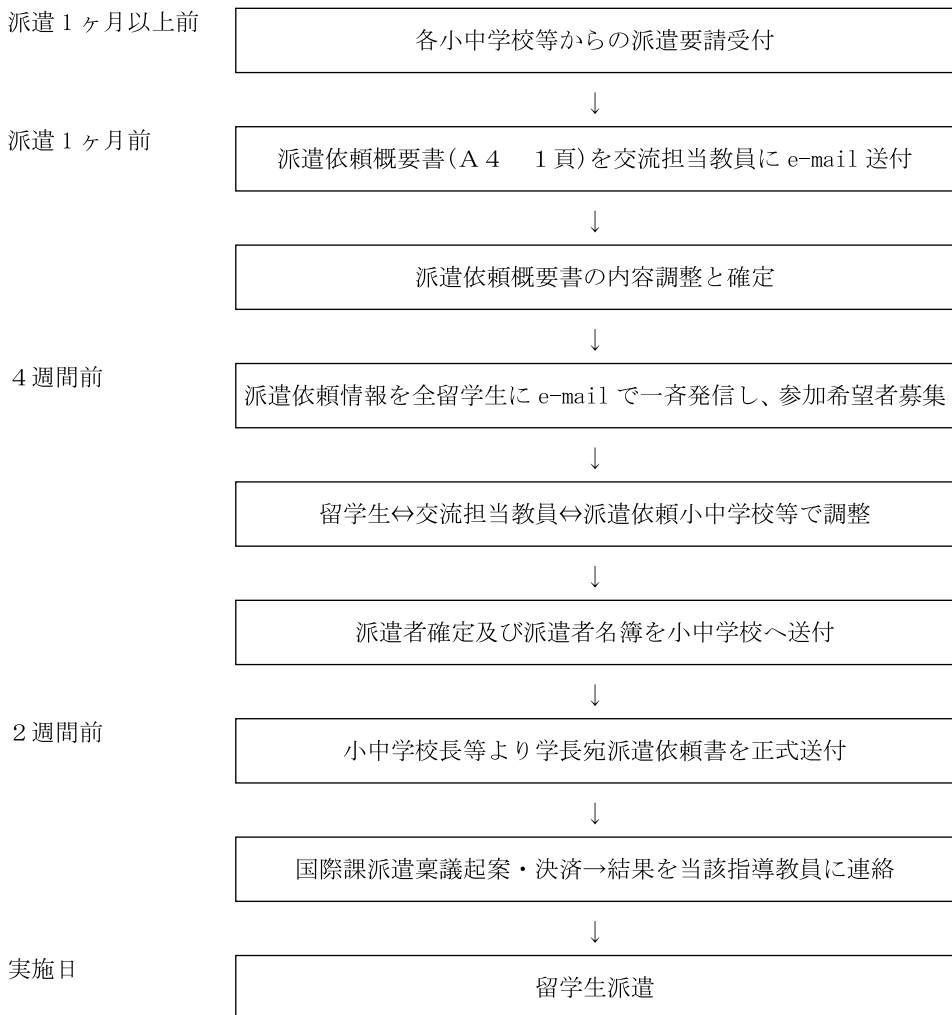


表 11 平成 20 年度の留学生派遣実績

	月 日	派 遣 項 目	人数
1	4月21日	ライオンズクラブ 1日バス旅行	30
2	5月18日	体験田植 (インターナショナルクラブ)	7
3	5月24日	伝統文化満喫ツアー (福井市国際交流課)	14
4	6月20日	附属小学校1年生「いろいろな国の挨拶と遊び」	1
5	6月24日	附属小学校5年生「お国の食べ物と、食事マナー」	3
6	6月25日	附属小学校4年生「お国の食べ物と観光名所、歌、ゲームなど」	3
7	6月28日	留学生と県民の一日バスツアー (福井県国際交流協会)	11
8	6月28日	「くりのみ児童館」文化・料理紹介 (福井市国際交流協会、ベトナム)	2
9	6月30日	附属小学校3年生「お国での数の数え方、縄跳び大会」	3
10	7月5日	Keimo International Day (啓蒙小学校)	18
11	7月7日	福井テレビスーパーニュース「みんなのECO」洞爺湖サミット	1
12	7月21日	インターナショナルさかい「International Barbecue Party」	6
13	7月26日	留学生と県民のポットラック交流会 (福井県国際交流協会)	11
14	7月30日	あわら市観光推進アンケート	23
15	8月1日	原子力安全研究協会講演会質問者	3
16	8月5日	第33回ゆかたの女王コンテスト (県民福井新聞社)	5
17	8月7日	啓蒙小学校国際理解職員研修	3
18	8月18日	日本赤十字福井支部JRCトレセン「国際理解・親善」のための情報交換会	4
19	9月7日	清水北公民館「文化・料理紹介」 (福井市国際交流協会、ベトナム)	2
20	9月10日	医学部看護学科への研究協力 (インタビュー)	10
21	9月14日	International Club 稲刈り体験	7
22	9月27日	JASSO 北陸支部「北陸を知ろう、体験しよう in 能登」	6
23	10月9日	中央公民館「文化・料理紹介」 (福井市国際交流協会、インド)	2
24	10月11日	「くりのみ児童館」文化・料理紹介 (福井市国際交流協会、ベトナム)	3
25	10月12日	J. ASIA INTERNATIONAL FESTIVAL	12
26	10月12日	丸岡古城祭り	19
27	10月19日	混声合唱団福井コーラルアカデミー21回定期演奏会	3

福井大学留学生センター紀要第5号

	月 日	派 遣 項 目	人数
28	10月24日	社南小学校「外国の人の話を聞こう」	11
29	10月25日	北京風雷京剧団訪日公演	50
30	11月3日	本郷公民館「文化・料理紹介」（福井市国際交流協会、パレスチナ・中国）	4
31	11月9日	青少年赤十字『高校生国際交流の集い』	6
32	11月9日	「2008 越前町国際交流フェスティバル」	20
33	11月13日	中央公民館「文化・料理紹介」（福井市国際交流協会、フランス）	1
34	11月15日	湊小学校「Minato International Day」	10
35	11月15日	清水西小学校輪ローワールド	1
36	11月16日	Let's Cooking（大学生協SOSEN部）	17
37	11月20日	有終南小学校「国際理解教育出張講座ハローワールド」	1
38	11月21日	福井市麻生津小学校「国際理解教育出張講座ハローワールド」	1
39	11月24日	J. ASIA INTERNATIONAL FESTIVAL	6
40	11月28日	啓蒙小学校「フィリピンについての話」4年生65名	1
41	12月5日	社南小学校「日本の文化を紹介します」	11
42	12月5日	坂井市加戸小学校ハローワールド	1
43	12月6日	インターナショナルさかい「ポーランド共和国の文化一般の紹介」講座	1
44	12月6日	インターナショナルクラブ「子供との英語ゲーム」豊公民館の企画	4
45	12月14日	FIA「通訳ボランティアガイド研修」	6
46	12月20日	第20回北陸地区大学校ESS合同英語劇コンテスト審査員	3
47	12月21日	J. ASIA INTERNATIONAL FESTIVAL	5
48	12月24日	西部保育園「クリスマス会」（福井市国際交流協会、ドイツ）	1
49	12月29日	インターナショナルクラブ 餅つき体験	15
50	1月12日	福井商工会議所新春「英語読み上げ算」	1
51	1月13日	福井市ガスセンター「お正月紹介」（福井市国際交流協会）	3
52	1月14日	教育地域科学部 地域科学課程研究協力	3
53	1月18日	福井市国際交流協会お正月紹介イベント	1
54	2月1日	インターナショナルさかいボーリング大会	6
55	2月6日	県立武生高校国際交流イベント（SSH事業）	18



	月 日	派 遣 項 目	人数
56	2月6日	日新小学校ハローワールド 5年生	1
57	2月14日	福井市国際交流協会「世界の文化紹介」(バングラデシュ)	1
58	2月19日	国際ロータリー創立104年記念例会	11
59	2月22日	「外国人による日本語スピーチコンテスト」(福井県交際交流協会、福井北ロータリークラブ)	12
60	3月14日	「至高の華」～人間国宝・野村万作と日本芸術院会員・梅若玄祥の雅な世界～	10
61	3月14日	清明公民館「文化・料理紹介」(福井市国際交流協会、バングラデシュ)	1

## 2) 福井県等官界とのネットワークと交流活動

福井県、特に産業労働部国際・マーケット戦略課、福井県国際交流協会、同嶺南センター、各市町村の国際交流協会との交流活動を随時実施している。

## 3) 商工会議所等産業界とのネットワークと交流活動

社会・経済のグローバル化が進む中で、地域経済界が生き延びる、更に発展するためには、各企業の国際化は喫緊の課題である。そして、その柱となるのが、国際戦略を担う人材確保である。

他方、留学生も卒業後、実務経験を身につけたい、更には、人生設計を日本の産業界に求めたいという学生が増えている。日本社会が抱える少子化、そして、世界的な人的移動と人材確保競争の中で、留学生センターとしては、地域国際化支援の核として、地域産業界への人材供給と留学生の就職支援を目的に、平成13年、14年、18年に「県内企業と留学生の交流会」を実施した。その結果、留学生の国内就職者は、平成13年度8名(県内4名)以降、14年度6名(同2名)、15年度16名(同9名)、16年度23名(同9名)、17年度9名(同4名)、18年度は26名(同7名)、そして、19年度は30名(同11名)と着実に増加していたが、20年度は19名(県内8名)と減少した。

昨今の経済情勢から就職環境は厳しくなりつつあり、今後も商工会議所、JETRO等と連携しながら、留学生の国内就職を推進していきたい。

## 4) 地域国際交流ネットワーク構築及びネットワーク誌「こころねっと」

卒業留学生、在学留学生、教職員、日本人学生、地域産官学民各界とのネットワーク構築のためにネットワーク誌「こころねっと」を平成13年秋号以降毎年発刊している。平成20年度も第9号2500部を発行した。「こころねっと」の概要は下記の通り。

表 12 「こころねっと」概要

発行部数	2,500部
配布先	帰国留学生、在学留学生、本学教職員学生、地域国際交流機関・個人、県下全小中高校、各大学留学生センター、他
編集	在学留学生中心の編集委員会
内容	在学・帰国留学生投稿記事2/3、センター行事等1/3が目安。行事感想、生活・旅行・映画・読書等体験、各国文化・社会紹介、各国挨拶紹介、各国料理紹介、帰国留学生からのメッセージ等

## 5) 福井大学留学生同窓会活動

### ① 福井大学留学生同窓会設立の背景

昭和45年に福井大学第1号留学生Lim Kim Teck氏が工学部繊維染料学科に入学して以来、約1400名の留学生が福井大学で学び、約800名が帰国し、約150名が卒業後日本国内に就職して勤務中である。平成13年秋のネットワーク誌「こころねっと」創刊に当たり、卒業留学生全員の住所ラベルを作成し、冊子を送付した。その中に、「福井大学留学生同窓会登録用紙」を同封したところ、多数の返信があった。そこが設立の出発点である。

### ② 福井大学留学生同窓会設立

文部科学省より特別配分予算を受け、平成15年11月30日に「第1回福井大学留学生同窓会大会」を開催。招聘した帰国留学生13名及び在学留学生計91名が参加し、同窓会設立宣言文を採択した。そして、劉丁会長以下事務局を選任した。

### ③ 支部設立の動き

平成16年12月マレーシアのクアラルンプールで「福井大学留学同窓会マレーシア支部設立大会」が開催され、支部設立宣言文の採択と事務局選出が行なわれた。その後、タイ、インドネシア、韓国、西安、上海、杭州、台湾、北京、ハンブルクに支部が設立され、平成20年11月には、日本国内在住留学生23名が出席して国内支部設立大会が本学総合研究棟13階会議室で開催され11番目の支部として正式に発足した。

### ④ 同窓会の活動

同窓会の活動としては、①支部会員相互の情報交換、交流や連携活動②他国支部との情報交換、交流や連携活動③福井大学を含む福井県産官学民との交流 ④各国と日本の経済・文化交流などがある。

### ⑤ 福井大学留学生同窓会西安支部企画「母校訪問及び観光交流ミッション」来訪

昨年度の上海支部ミッションに続き、今年度は10月24日から4泊5日で西安支部企画

による「母校訪問及び観光交流ミッション」一行7が来訪した。主な行事は福井県若狭町の観光振興のための「2泊3日の若狭観光モニターツアー」参加で、民宿に宿泊しながら、観光地を訪問し、最後に「若狭町観光振興いかにあるべきか」のシンポジウムを実施した。そして、10月27日には福井大学アカデミーホールにて、関係教職員及び西安地区出身留学生も交えて、「西安支部ミッションと教職員学生の交流会」を実施した。

#### ⑥「スリングプログラム in 上海」の実施

2009年3月8日から2週間、福井大学大学院工学研究科博士前期課程入学予定の工学部4年の日本人学生10名を中国上海市に引率し、学术交流協定校である上海理工大学のゲストハウスに宿泊しながら、「スリングプログラム in 上海」を実施した。特に2週目は「海外企業経営・技術論」(2単位)及び「インターンシップ」(1単位)が設定されているが、両講座を留学生センター相談交流担当教員が担当し、同窓会上海支部会員である経営者、及び現地進出福井県企業経営者に午前は講義、午後は工場見学をお願いした。このプログラムは上海理工大学、福井大学留学生同窓会上海支部、福井県上海事務所、及び現地進出福井県企業の共同事業であり、今後の同窓会活動のプロトタイプとして位置付けている。

今後毎年、この時期に実施する計画である。尚、受講科目は博士前期課程入学後、履修科目として単位認定される。

#### 6) 第4回留学生国際シンポジウム「地震・津波等自然災害被災者支援のための国際ネットワーク構築に向けて」実施

平成16年12月に発生したスマトラ沖地震・津波では20万人以上が犠牲となった。福井大学留学生センターは、在学中のインドネシア及び各国留学生と協力して、募金活動を展開し、約100万円の募金を集めた。また、本学教育地域科学部理数教育講座では、現地の高校理科教員を対象にSyiah Kuala大学と共催で「物理教育ワークショップ(身の回りの材料を用いる効果的な物理実験法)」を実施し、教育復興の援助を試みた。更に、平成18年5月発生の子ジャワ中部地震及び平成20年5月に発生した四川大地震においても、被災者支援のための募金活動を行った。

平成20年9月本学教育地域科学部理数教育講座では日本学生支援機構(JASSO)の「平成20年度国際大学交流セミナー」事業より助成をいただき、スマトラ沖地震・津波で最も被害を受けたアチェ州の基幹大学であるSyiah Kuala大学の学生10名及び教員2名を12日間招聘し、再度「理数教育ワークショップ」を実施した。そこで、この機会にスマトラ沖津波被災地者支援活動に参加した彼等の関係者に集まっていただき、シンポジウムを通して、支援活動とその復興状況を考察し、今後の支援ネットワーク作り及び支援活動実施上の課題について議論をした。

日 時 平成20年9月27日(土) 10:00- 12:00

参加者 76名

会 場	福井大学アカデミーホール
主 催	福井大学留学生センター、Syiah Kuala 大学理学部
共 催	福井大学教育地域科学部理数教育講座、同医学部看護学科臨床看護学講座 福井大学留学生同窓会インドネシア支部、福井大学中国人学友会

#### 7) 第5回留学生国際シンポジウム「留学生の就職・採用促進のための産官学民ネットワーク構築に向けて」実施

平成20年11月23日午前に発足した福井大学留学生同窓会日本国内支部の設立大会開催に合わせて、本シンポジウムを実施した。

背景：社会・経済のグローバル化が進む中で、企業が生き延び、更に発展するためには、その国際戦略を担う人材確保は喫緊の課題である。また、留学後、実務経験を身につけたい、更には、人生設計を日本の産業界に求めたいという留学生も増えている。平成19年度には留学生10,262名が日本企業に就職しているが、福井大学でも平成20年春には留学生30名が日本企業に就職し、内11名は県内企業で活躍している。

そこで、国内企業で活躍している留学生先輩諸氏が集合するこの機会に、留学生採用に積極的な県内企業、その他関係者を交えて、留学生就職及び採用の両面から実務的経験交流を図るためにシンポジウムを実施した。

その主たる目的は、福井で学び、福井に限りない愛着を持ち、福井に職を求める留学生の県内就職先の掘り起こしである。

日 時	平成20年11月23日(日)14:00~16:30
参加者	150名
会 場	福井大学総合研究棟13階会議室
主 催	福井大学留学生センター、福井大学中国人留学生学友会、福井市日本中国友好協会
共 催	福井商工会議所
後 援	福井県、福井市、福井県国際交流協会、福井市国際交流協会、福井県日中友好協会、福井大学留学生会、福井新聞社、NHK福井放送局、福井放送、福井テレビジョン放送、福井エフエム放送
特別協賛	財団法人 げんでんふれあい福井財団

#### 8) 福井県留学生交流推進協議会

県内産官学民の計30団体機関が会員となり、「福井県における留学生の円滑な受入れの促進及び留学生と地域住民との交流活動を推進する」ことを目的として活動しているが、留学生センターからは、センター長及び相談交流担当教員がその運営委員会委員として参画している。また、福井大学国際課がその事務局となっている。

その主な活動としては、「留学生救済援助金」による国民健康保険料助成、情報交換などである。また、毎年、「福井県留学生だより」を国際課が編集し、発行している。センターの諸

活動についてもそこに掲載し地域に発信している。

## 9) 課題

### ① 地域社会との相互支援活動について

留学生の本分は学習・研究等であるため、交流活動によってそれが阻害されてはならない。交流活動に熱中し過ぎて研究論文作成が疎かになっているという苦情を時折指導教員よりいただく。そこで、募集においてはあくまで学生個々に直接依頼せず、一斉メールで募集し、派遣稟議決済後その写しを指導教員に回付することになっている。

又、留学生は遠方の派遣先に自転車で向かうことが多いことから、事故等に備えて派遣先に一日傷害保険をかけるよう依頼徹底している。

実験などに追われる留学生は交流活動に参加する余裕がなく、小学校等からの要請に沿う留学生を確保するのはなかなか難しい。従って、余り積極的な派遣活動を展開することは出来ず、そのバランスが大切である。

### ② 同窓会各国支部との連携活動について

同窓会各国支部網、ネットワーク誌「こころねっと」を通じたネットワーク、帰国及び在日卒業生 700 名に及ぶ e-mail アドレス網は本学、及び地域社会の国際化戦略における重要なインフラと考えている。小規模大学が海外事務所を持つことは難しいが、同窓会各国支部には本学の海外支部としての役割を期待し、それを実際をお願いしている。

今後の活動方向としては、

- ・ 上海支部が平成 19 年度、西安支部が今年実施した来訪ミッションのように、県産官学民との交流を促進するミッション活動を継続実施する。
- ・ 今年度実施した「スリングプログラム in 上海」のような共同事業を海外支部と一緒に現地で実施し、日本人学生の国際性涵養を図る。
- ・ 本学教員が各国支部と協力して、現地で産官学民の参加者を集めた、シンポジウムや講演会を実施し、その中から国際共同研究のシーズを発掘する活動を展開する。
- ・ 以上のような活動を 2 国間で展開するだけでなく、各国支部相互間にも展開・構築するにはどうすべきかを議論するため、福井大学同窓会世界大会をいつか開催したい。

## 5 外部への情報発信活動

### 1) 主な発信媒体

留学生センターの情報発信媒体としては、「留学生センターホームページ <http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/>」がその中心的な役割を果たしている。その他の発信媒体としては、「福井大学留学生センター紀要」「センターニュース」、ネットワーク誌「こころねっと」、などがある。

### 2) ネットワーク構築を支える情報登録・管理

学内及び地域、そして国際的なネットワークを構築して活動を展開しているが、その基盤となるのが、住所及びメールアドレスの登録と管理である。

登録状況は下記のとおりである。

ネットワーク誌「こころねっと」発送等のための登録住所（ラベル打出用）

帰国及び在日卒業留学生	987 件
県内小中高、企業、機関等	691 件
合計	1,678 件

情報発信、交流促進のためのメールアドレス（携帯等重複）

帰国留学生	600 件
在日卒業留学生	215 件
在学留学生（携帯等重複）	369 件
その他	652 件
合計	1,836 件